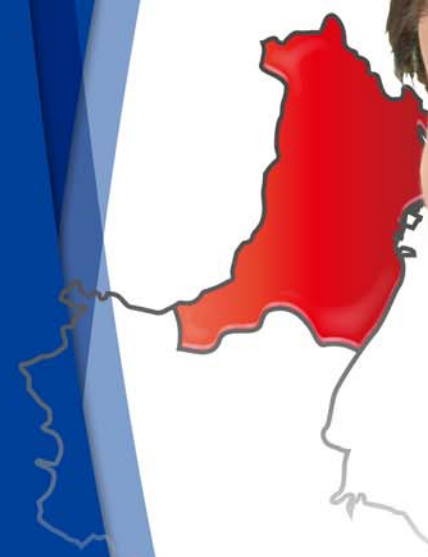


県政改革!

～地方から国を守る～



38歳

倉本たかひろ

倉本 たかひろの決意



政治を志したきっかけ

学生時代にいわゆる55年体制が崩壊していく様に接し、政治の重要性、果たすべき役割を再認識し、自らが行動することにより社会が変わるんだということを痛感したことから政治家を志しました。

学歴 大山田北小学校 卒業
 陵成中学校 入学
 光陵中学校 卒業
 (学校の分離により2年次より光陵中学校に通学)
 学法津田学園高等学校 卒業
 東京経済大学経済学部 卒業

経歴 現在、桑名市議会議員(2期目)
 総務政策委員長
 津田学園評議員(元)
 大山田畜産福祉協議会相談役
 NPO法人なのはな音楽療法研究会理事
 東海若手市議会議員の会事務局長(元)

倉本たかひろ後援会

〒5110867 桑名市陽だまりの丘6-647

<http://www.t-kuramoto.net/>

090-8060-5869

0594-31-1098

若さ・行動力

～ 38歳みなぎる行動力 ～

子どもたちの将来をまもる ～原発に依存しないエネルギー政策～

市議時代からエネルギー政策の転換には意欲的に取り組んできました。特に東京電力福島第一原発事故以来もはや完全に原発の限界を認めざるを得ない状況であるにもかかわらず、その代替エネルギーが確保できず、なし崩し的に原発の再稼働の議論が進んでいます。しかし、このままでいいのでしょうか。子どもたちに安心して暮らせる社会を継承していくためには今、まさに決断すべきときです。木曾岬干拓のメガソーラー発電をはじめとして**再生可能エネルギーの普及・促進**、そして**原発に依存しない社会の構築**を目指します。



↑長島福祉健康センター屋上に県内初となる公共施設の屋根貸し事業で設置したソーラーパネル

実績

～ 民の力の活用 ～

地域活性化

桑名市をはじめとする基礎自治体もそうです。県も同様財政的には厳しい環境にあります。しかし、市民、県民ニーズは多様化・複雑化しており、行政だけでは十分な対応ができなくなってきています。まさにいわゆる「新しい公共」**NPOなどを****はじめとする市民団体等の活用**が必要不可欠です。そのためにはしっかりとした支援をおこない成熟した団体の育成が県としても必要です。団体設立当初の財政的な支援、成熟期においては行政との円滑な意思疎通を目指します。



↑初代実行委員長として企画したご当地グルメの祭典「わっしょい！くわな祭」



洞察力

～ 一歩先を見据える力 ～

道州制改革 ～20年後を見据えた構造改革～

桑名市をはじめとする基礎自治体に求められる行政サービスは年々多様化・高度化しています。しかしながら、その求めに対応できるだけの十分な財源が確保できていないというのが大きな課題の一つです。その課題を解消する特効薬が道州制です。国、広域自治体、基礎自治体の役割分担を明確にし、国は外交・防衛を中心に対外的なこと、県から再編した道州は外交・防衛を除く国がおこなっていた行政事務全般、そして市町村は県からの大幅な権限移譲を受け身近な行政事務全般を担う形に再編することにより**2重行政、3重行政を解消**することが可能になります。



経験

～ 市議会議員8年間の経験 ～

議会改革

二元代表制の一翼を担っている地方議会の存在自体が問われています。全国的に見れば三重県議会も改革が進んでいる議会の一つではあります。ですが、もうやるべきことをやりつくしたということは決してありません。日々見直しをおこない、新たな取り組みにチャレンジすることが重要です。私が8年間在籍していました桑名市議会でもかなりの改革を進めてきました。議会に来るたびに支払われる**費用并償の廃止**、2度の**議員定数の削減**、一般質問等の議論をよりわかりやすくするための**一問一答方式の導入**、**インターネットの録画中継の開始**、**議会だよりの発行**、**議会報告会の開催**、ケーブルテレビ放送を中止し経費の面からインターネットによる生中継の開始など時代の要請にあわせて必要とされる調査機能はしっかりと残し、向上をさせつつ、より効率的で、身近な議会になるように努めてきました。議会改革はまだ道半ばですが、最新の日本経済新聞社産業地域研究所の議会改革度調査で813市区議会中38位にランキングされるなど着実に成果を上げてきました。ここでの経験を活かし、さらなる議会改革を推し進めていきます。